

事業者名：株式会社 一村造園土木

＜2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿＞

つねづね生まれ育った愛着ある地元が、少子高齢化の進展、耕作放棄地の増加、獣害拡大などの問題が山積し衰退していく状況を目の当たりにして、町の人口減少に歯止めをかけるような魅力ある町づくり（里山づくり）への貢献を基本方針として、自社の強みを強化し経営の安定化と発展を目指している。

＜SDGsに関する重点的な取組み及び指標＞

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	里山荒廃や獣害の一因である放置竹林問題の解決策として、竹利活用製品作成用に竹林の伐採整備を推進	竹林の整備・伐採面積 令和4年 1.2ha 令和7年 2.5ha
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	施工品質及び施工効率の向上に向けた、施工技術力の向上	1級土木施工管理技士資格取得 令和4年 0名⇒令和7年 1名 2級造園施工管理技士資格取得 令和4年 1名⇒令和7年 2名
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	将来を見据えた人材の確保による活力ある持続可能な体制の構築	中堅・若手人材の採用 令和4年 0名 令和7年 1名

＜パートナーシップ＞

熊本県よろず支援拠点や美里町商工会及び役場等からの助言や連携により、新規事業である竹チップの利活用製品の販路拡大や地域への認知度を進め、持続可能な里山づくり・町づくりを目指している。又、福岡市のNPO「竹イノベーション研究会」に入会し、竹の利活用策や各種施工技術等の情報を共有化し、荒廃竹林問題に共に取り組んでいる。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標（更新時に向けた数値目標）」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。

○ SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係る進捗状況（※更新の場合のみ。）

○登録状況：第 期登録（登録年月日：令和 年 月 日）

＜SDGsに関する重点的な取組み及び指標＞

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済			
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済			
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済			

- ・「登録状況」及び「登録番号」を記載してください。
- ・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。